

【評価実施概要】

事業所番号	0170100903		
法人名	はまなす介護センター株式会社		
事業所名	はまなす介護センター苗穂		
所在地	〒060 - 0032 札幌市中央区北2条東9丁目11番8号 011 - 223 - 2020		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061 札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル601 B		
訪問調査日	平成21年10月27日	評価確定日	平成21年11月6日

【情報提供票より】(H21年10月27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 5月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27人
職員数	22 人	常勤	21人 非常勤 1人 非常勤換算率 0.25

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	4階建ての	2 ~ 4	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,400 円	その他の経費(月額)	光熱水費21,500 円
敷 金	有り(室料の1ヶ月分)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
1 か月あたり 29,000円		おやつ代を含む	

(4) 利用者の概要(9月 1日現在)

利用者人数	27 名	男性	4 名	女性	23 名
要介護 1	4名	要介護 2	8名		
要介護 3	7名	要介護 4	6名		
要介護 5	2名	要支援 2	0名		
年齢	平均 88.4 歳	最低	75 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	札幌厚生病院、斉藤医院、山口歯科、
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームはJR苗穂駅・鉄道を挟んで大型商業施設や札幌厚生病院などに極めて近く、利便性のよい地域に位置している。4階建てマンション風の建物の2~4階の明るく居心地のよい居室がしつらえられ、1階は家族の方と相談する場として格好な条件を備えている。3ユニットは清潔で居心地よく整えられたホームである。職員は利用者個々の心身の状態や生活状況を把握することに努力しており、笑顔や丁寧な対応に徹している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	理念の共有・家族への周知・日常的な外出支援等について改善の取り組みに努めつつある。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員が意義を理解し、介護の過程をふまえて改善課題を確かめてサービスの質的向上を目指している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議は地域関係者・家族・包括支援センターの参加を得て主たるテーマ(認知症の理解・地域の行事とホームのかかわり・評価についての報告など)をもとに話し合いが行われている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	月例の家族への金銭関係や心身の状況などを報告するとともに、訪問面談時には日頃の生活や家族の相談を聴き、応えて意向を汲み取っている。運営推進会議には複数の各階の家族が参加して意見を述べている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会へ加入し、地域の主たる関係者と協議して地域の交流行事への参加や支援を得ている。運営推進会議も地域の関係者の支援と協力を受ける上で役割を果たしている。

2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「幸せになる」ことを目標として、この内容に家庭的環境や地域住民との交流のもとで、能力に応じ、自立した生活を支援する理念としている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員はこうした理念を共有して実践に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	古い歴史を持つ地域なので地域固有の祭りもあり、町内会の有志にはたらきかけて協力を得ている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の意義とともに第三者による効果を認識して全員で評価に当たり、業務の改善に活かしている。		改善シートを活用し、改善課題を明らかにして、具体的検討を期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は定例的に開催して地域関係者・各階を代表する家族・包括支援センターの職員が参加して主たるテーマをもとに意見をまとめ、時には学びあい認知症者の経過と対応を学習し、運営に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>札幌市・区のグループホームの連絡会議等での研修など行政指針を受け止めるとともに、サービスの向上に活かしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の担当者からたよりでホーム活動の共通する事項を連絡するとともに、個々の生活の様子や変化など小さなことも報告して情報交換できるよう努めている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面談の機会を大切にして相談に応じるほか、運営推進会議では家族の代表の参加で運営についての意見を聴取するよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者や職員の交代は多く、職員はこの対応に追われ、苦勞して懸命な介護努力で現状をカバーしていると思われる。職員の努力に加えた経営者のレベルの解決課題として検討を期待したい。</p>		<p>管理者や職員の定着化・安定化は家族からの指摘も多く利用者介護の側面からも安定化についてご検討を期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	社内外での研修の場を設けて具体的内容の研修に努めるほか、交代で外部研修の機会を活かしてサービスの向上を図っている。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	中央区のホーム連絡会議は同業者間の交流・研修の場となっていて、組織的な強化も図られ職員の資質とサービスの向上に活かしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入所申し出のリストに記録して家族の意向・本人の事情を聴取しながら、ホームでの見学や相談の機会を持ち、納得を得て入所を奨めている。入所後は家族との綿密な連絡をはかって家族の支援を得ている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者の生活状況をきめ細かに把握し、家族の協力も得て社会活動歴・趣向などに合わせた対応に努め、共に楽しみ支えあうように努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の日々の表情や行動の観察に留意して、個々の意向や想いを推察できるよう、職員間で観察結果について協議検討を重ねるなど対応に努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員を中心に担当者の日々の支援記録を集約し看護師等の意見を得るなど支援課題を明らかにし、家族とも協議しながら全員が担当役割を果たして介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定例的な介護計画の見直しは個別にその時期を全職員に周知して、事前に対応を心がけており、個々の状況の変化に応じては即応した計画の見直しを行っている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院時の支援など必要に応じた支援を行うほか、利用者・家族の状況に応じた弾力的かつ臨機応変な支援に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	週1度かかりつけ医の来診があり、看護師が週2度健康管理に携わり連携をとっており、個別の医療関連受診の支援もしている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化や終末期の指針を下に覚書を交わし対応のための準備と共有をはかっている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	利用者個々のその人らしさを大切にした声かけを始めとして想いをくみ取るよう心がけている。また、個々の記録への配慮・保存管理も適切に行っている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員の計画や思いは利用者本位を旨として、個々の生活や動作のペースやリズムを大切にした支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の前後の手伝いや嚥下の体操としての歌を斉唱するなど、見た目のよい調理や配膳に留意した楽しい雰囲気作りに努めている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を大切にして個々の状況を観察し、床ずれの有無の確認などに留意しているが、週2度の計画も本人の希望などに応じて弾力的に対応して、苦勞を重ねながら入浴を奨めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	午前と午後に趣味趣向や生活歴を考えた、レクリエーションの時間を設けて個々の役割を創るなど、楽しく過ごせるよう工夫をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	インフルエンザの流行を懸念してやや控えめな対応をしているが、日常的な外出、花見・近隣のデパートの買い物・食事会など多様な支援を行ってきた。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	拘束等の態様について確かな検討協議を行っており、鍵をかけない介護も実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回消防署と連携した訓練を行い、避難経路の確認、消火器の使い方などの試行をしている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>バイタルチェックを行うと共に、食事摂取量・水分量の補給確認など記録にとどめて、日々の支援に活かしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室・居間などの採光・温度・湿度・換気に留意して外気の導入やカーテンの活用など配慮すると共に、季節感を演出する工夫と職員と利用者の合同制作作品を展示するなど居心地良い生活の場作りを工夫している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の支援を得て本人の趣向や馴染みの置物・写真・家具などを配置して居心地の良い居室作りを支援している。</p>		

 は、重点項目。